

# 統合報告書分析レポート

## 企業理念の記載状況

当レポートでは、2020年9月までに狭義の統合報告書※を発行した426社のうち、日経225に採用されている銘柄116社を対象に、企業理念に関する記載状況を調査した。

※狭義の統合報告書：IIRCフレームワークなどへの統合報告ガイダンスを参考にして制作されている報告書、または冊子やWEBサイトでレポート名を統合報告書・統合レポート等と題されている報告書を指す

### <レポートサマリー>

- 116社中112社と、ほとんどの企業が自社の企業理念を開示
- トップメッセージにて企業理念の考え方を説明する企業は半数以上
- 各企業が持つ企業理念の個性が反映された統合報告書の記載に期待

企業理念※とは、企業が最も大事にする考え方や自社の存在意義、社会的役割などを端的に表現するものであり、進むべき方向を示す羅針盤ともいえるものだ。企業が持続的な成長を目指して掲げる「あるべき姿」であり、それが企業理念として社内外に示される、最も分かりやすい価値観となる。

※経営理念、経営ビジョン、使命、ミッションステートメントなどの類似表現を含む

企業と投資家の対話を促すための「価値協創ガイド」においても、企業が持つ独自の「価値観」は、何よりもまず初めに説明すべきものとされ、「企業理念やビジョン、企業文化等の価値観を知ることは、当該企業固有の判断軸を理解することであり、また、企業の実行力やビジネスモデルの実現可能性を判断する上で重要な要素である。」と定義している。これらは投資家が当該企業のビジネスモデルや戦略を読み解き、適切に評価するための前提情報となり、より深い理解につながることとなろう。

統合報告書における企業理念の記載状況を調べると、調査対象116社のうち112社（96.6%）という高い割合で何らかの記載が確認できた。企業理念のみならず、行動指針や経営方針などの理念体系を図式化して示す事例は37社（31.9%）であった。また、統合報告書において重要コンテンツであるトップメッセージにおいて、企業理念に言及する事例は63社（54.3%）で確認できた。言及の仕方としては、企業理念を元に自社の価値観を示したうえで目指すべき方向性を語るものや、人材への理念浸透の重要性を訴えるものなどが多く見受けられた。トップが企業理念を軸にあるべき姿を見定め、その重要性を示すことで、読み手としても企業の結束感や方向の統一性を感じるとともに、その企業が存在する意義としての目的（パーパス）を知ることができよう。その他、企業理念との関係性に触れている各コンテンツや、統合報告書全体を通して企業理念が事業活動の根底にあることが丁寧に説明されている事例として確認できたのは次頁のとおりである。

今回の調査においては、高い割合で企業理念を掲載する傾向が見られた一方で、説明の仕方は各社で異なり、単に企業理念の文言を記載しているだけのケースから、理念が表す考え方を数ページを割いて丁寧に説明するケースまで様々だ。経営理念は端的な言葉で言い表されたものが多いことから、考え方やDNAを分かりやすく説明すると

もに、どのような信念で事業を広げてきたのかといった観点でビジネスモデルと関連づけた事例も多々見受けられた。企業理念は各社ごとに異なり、その企業の個性を最も色濃く反映したものといえるだろう。統合報告書においても、それらの個性が反映され、読み手の理解と共感を促す説明がなされることを期待したい。

## <企業理念との関連を述べているコンテンツ>

価値創造プロセス	49社 (42.2%)
サステナビリティ・CSRマネジメント	36社 (31.0%)
事業・ビジネスモデル	29社 (25.0%)
戦略・経営計画、リスクと機会	21社 (18.1%)
マテリアリティ	16社 (13.8%)
沿革	15社 (13.0%)

## <企業理念が丁寧に説明されている事例>

今年4月に改訂した企業理念「三方よし」をテーマとし、CAO（Chief Administrative Officer）と有識者が今後のあるべき姿等について語る対談を実施。ビジネスモデルの中心にも理念を据えて説明するなど、重要な価値観であることを訴求している。	伊藤忠商事株式会社
「受け継がれる理念」として常にグループ経営理念が根底にあることを各コンテンツで説明し、価値創造プロセスは「理念から始まる強みの拡大サイクル」として訴求。また、人材や安全の取り組みにおいても理念浸透の重要性を説明している。	ANAホールディングス株式会社
SWOT分析において強みの一つに理念浸透を挙げ、CEOメッセージでも「我々だけでなく株主様とも共有されていることがエーザイの根幹」と述べている。また、同社の知創部フェローが理念をテーマに有識者と対談を実施している。	エーザイ株式会社
CEOメッセージで「企業理念経営」の重要性を訴え、情熱を「解放」するのが企業理念経営であると述べている。また、社員の企業理念の実践を発表する場である「TOGA」の取り組みについても特徴やプロセス、意義を含め丁寧に説明している。	オムロン株式会社
統合レポートの発行目的を「その理念を株主・投資家やさまざまなステークホルダーの皆さまにご理解いただくため」とし、冊子冒頭においては経営理念（社是）を歴史から紐解きながら自社の目指すべき方向性について説明している。	三菱重工株式会社
冊子の冒頭で経営理念について、そこに込められた思いを説明しつつ、「豊かな将来の実現に向けた経営理念の実践」と題したコンテンツでは実例を交えた5分野の取り組みをSDGsとの関連とともに具体的に説明している。	株式会社安川電機